



誰もがいつまでも住み続けたい地域をめざして

2017年度 定期総会開催 2017.5.30



2017年5月30日（火）午後3時から市庁舎2階「市民協働おうえんルーム」にて2017年度定期総会を開催いたしました。

構成団体21団体中13団体から28名の方が出席され、2016年度の事業報告・収支決算報告並びに会計監査報告、2017年度事業計画(案)・予算(案)、規約の改正(案)及び役員を選任(案)を審議し、すべて承認されました。

今後は計画に沿って事業を展開していきます。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。（事業内容は裏面参照）

2017年度役員

代表・事務局長 中 一登

副代表 澤田美久・新井邦夫
茂木冴子

会 計 本城浩子・芝裕子

会計監査 山口晴一郎・鈴木則夫

相談役 野澤滋享



避難施設開設模擬訓練を実施しました

本年度の防災・防犯事業のひとつとして、6月21日（水）、市立町田第一中学校において「避難施設開設模擬訓練」を行いました。当日は大雨にも関わらず30名の方が参加され、熱心な訓練を行いました。今後は、この訓練を検証し、他の避難施設でも同様の訓練をおこなう予定です。

誰でも、素早く避難施設を開設できることをめざして



町田第二地区協議会では、「誰でも、そして素早く避難施設を開設できること」を目標に、2016年度に地区内9ヶ所の避難施設に開設のための案内板、備品、消耗品を配置しました。今回、その備品等を実際に活用し、模擬訓練を行い、不足・追加品等の確認を行いました。

学校の平面図を使い作戦会議！



避難施設を開設するには、建物の安全性を確認したうえで、体育館や教室などをどのように活用するか、また周辺から避難してこられる方をどのように誘導するかを考える必要があります。模擬訓練では、学校の平面図を使い、どこに受付を設置するのか、どのように誘導するのか等を検討しました。



図面での検討が終了した後、実際に校舎に問題がないかを確認しました。現場を見ると図面だけではわからないことも発見できました。

発災時、誰が開設・運営するのか

訓練の冒頭、町田第二地区協議会の中代表から「発災時には誰が避難施設に駆けつけられるかわからない。誰でも、素早く避難施設を開設できるようにしていきたい！」との話がありました。



2017年度の地区協議会の取組

- ★ 広報広聴事業
 - ・ 「町田第二地区協議会ニュース」の発行
- ★ 子どもの見守り事業
 - ・ 登校時の見守りの拡大と下校時の見守り強化
 - ・ 通学時間帯の進入禁止看板の設置
- ★ 高齢者の見守り事業
 - ・ 未実施地区での見守り開始
 - ・ 認知症高齢者の見守り
- ★ 防災防犯事業
 - ・ 「一斉あいさつ運動」の実施
 - ・ 避難施設開設訓練実施



地区協議会とは…

町内会・自治会、民生委員児童委員協議会、青少年健全育成地区委員会の他、教育・福祉・防犯・防災・健康・環境等の多様な専門分野で活躍する地区内の各種団体が一つのテーブルに集まり、地区の情報共有し、地区の課題について話し合い、取り組むべき事業を自ら選択し、事業を実施するための組織です。現在、市内に9つの地区協議会が設立され、さまざまな事業に取り組んでいます。

町田第二地区協議会構成団体

町田第二地区町内会・自治会連合会、町田第一・第二地区民生委員児童委員協議会、青少年健全育成町田中央・森野・本町田・薬師地区委員会、町田第一小学校、町田第三小学校、町田第四小学校、本町田小学校、本町田東小学校、藤の台小学校、町田第一中学校、薬師中学校、町田高等学校、町田デザイン専門学校、町田市社会福祉協議会、町田第1・第2高齢者支援センター、町田市消防団第1分団 以上21団体